

皆さまからお寄せいただいた質問・要望について

「県外自主避難者等への情報支援事業」では、皆さまのお困りごとや心配ごとについてのご相談を受け付けることとしていますが、昨年12月に開催した「支援情報説明会・交流会」にて、ご参加の皆さまから質問・要望をお寄せいただきましたので、主な内容とその回答をご紹介します。

No.	会場	質問・要望	回 答
1	大阪府	甲状腺検査ができるバスが京都府や滋賀県には来ていますが、大阪府に来ていないのはなぜでしょうか。 (伊達市からの避難者)	甲状腺検査バスの県外派遣につきましては、避難者が多いなどの状況から、山形県、神奈川県及び新潟県への派遣実績はありますが、検査者の確保などの課題もあり、県外検査実施機関における受診を御案内しているところです。 大阪府では、すみれ病院（大阪市）、大阪市立大学医学部附属病院（大阪市）、大阪大学医学部附属病院（吹田市）、りんくう総合医療センター（泉佐野市）、高松内科クリニック（高槻市）、市立堺病院（堺市）において受診が可能となっています。（平成26年10月31日現在） なお、ご質問では、甲状腺検査バスの派遣先として京都府・滋賀県が挙げられていますが、確認したところ、ホールボディカウンター検査（内部被ばく検査）を行う車両が京都府に派遣されており、大阪府へも平成26年10月に派遣されています。また、滋賀県においては大津赤十字病院でホールボディカウンター検査が行えるようになりました。 (福島県)
2	京都府	西日本には福島以外の東北、関東からも多く避難してきているのが現状です。 子ども被災者支援法の理念としては、福島県以外の地域も救済することが掲げられていますが、支援対象地域を広げるような動きはあるのでしょうか。 (福島市からの避難者)	子ども被災者支援法附則2に基づき、支援対象地域を見直した結果、発災以降の放射線量は全体として低減傾向にあるものの、一方で今後もなお支援が必要と考えられることなどを総合的に勘案し、引き続き、支援対象地域を福島県中通り及び浜通りの市町村（避難指示区域等を除く。）とすることとしました。 引き続き、支援対象地域に加え、施策ごとに支援対象地域より広範囲な地域を準支援対象地域として定めることで、支援を必要とする者に必要な施策が届けられるよう、関係自治体及び省庁と施策の推進に努めてまいります。 (復興庁)
3	京都府	子どもの転校を避けるため、今後の生活拠点は現在と同じ学区を希望しています。 現在の避難先の隣にUR住宅があり、現在建設中の建物も見受けられることから、こうした住宅への入居条件の緩和・特別措置などを検討していただくことは可能でしょうか。 (福島市からの避難者)	UR住宅については、震災直後は一定期間無償で住宅提供を行っていましたが、現在は一般の方と同様の条件となっており、今後、入居条件の緩和や特別措置の予定はございませんが、住宅の確保という点で、「公営住宅への優先入居」を全国で順次実施していますので、ごちらの制度の活用をご検討頂ければと思います。 優先的取扱い、①母子のみ避難など世帯が分離している場合には収入を半分とみなすこと、②避難元に住宅を所有していても住宅を所有していないものとみなすこと、などがあります。自治体により条例改正が伴う場合もあるため、開始時期については都道府県・市町村によって異なります。 (復興庁)

No.	会場	質問・要望	回 答
4	新潟県	「ふくしま復興のあゆみ」の10頁にある「食と放射能に関するリスクコミュニケーション」のアメリカとEUの指標は、どの資料から引用しているのでしょうか。 (郡山市からの避難者)	厚生労働省資料ほか、消費者庁のホームページからの出典で、緊急時における基準になります。(福島県) - 厚生労働省HP (食品中の放射性物質への対応) http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html →「海外における放射性物質に関する基準」 - 消費者庁HP (食品と放射能Q&A) http://www.caa.go.jp/jisin/pdf/141113_food_qa.pdf →19ページ「海外における食品中の放射性物質に関する指標」 ※HPをご覧になれない方に関しましては、受託事業者にご一報ください。
5	新潟県	この事業や説明会の目的は何ですか。 (いわき市からの避難者)	本事業は、福島県から県外に自主避難されている皆さまに対し避難元・避難先の情報をニュースレターや説明会でご提供し、今後、皆さまが帰還や移住の判断をされる際の参考にさせていただくことを目的に実施しているものです。 また、本日(平成26年12月16日)の説明会は、避難元情報として福島県からの説明と、皆さまに有益なお話として海原先生による講演のプログラムとなっています。(復興庁)
6	新潟県	「ふくしま復興のあゆみ」の8頁にある「甲状腺検査の結果」について、二次検査の結果、「悪性ないし悪性の疑い104人」とありますが、この詳細について教えてください。 (いわき市からの避難者)	甲状腺検査で、「二次検査が必要なもの」の対象となるB判定、C判定と判定された2,237人のうち、実際に二次検査の結果が確定した1,848人(平成26年6月30日段階。受診者は1,951人)の中で、がんとかんの疑いのある人を指します。 甲状腺検査結果概要については、福島県「県民健康調査」の情報提供サイト(http://fukushima-mimamori.jp/thyroid-examination/result/)をご覧ください。(福島県) ※HPをご覧になれない方に関しましては、受託事業者にご一報ください。